



青少年健全育成作品展開催



平成25年度「青少年健全育成作品展」が、11月13日(水)～15日(金)まで市役所1階市民ホールで開催されました。今年度は、小・中・高校・一般より、書写、ポスター、標語、合わせて568点の応募があり、入賞作品160点が展示されました。

なお、最優秀賞に選ばれた12名の方が、11月16日に開催された、青少年健全育成『市民のつどい』の席上で表彰されました。

今回の応募作品は、標語の部では「どうしたの」「ぎゅっとね」等、家族の温かさや声かけなど言葉がもつ大切さをテーマにしたものが多く見られました。また、社会環境を反映して正しい判断と心の眼の必要性、IT機器に頼らない会話の大切さを訴えるものも見られました。書写の部においては「しなやかで丁寧な筆遣い」「バランスの良い文字の配置」などにより余白の美しさを引き立て、見ている人々の心を落ち着かせる完成度の高い作品が多く寄せられました。また、ポスターの部では、応募された方々の思いが「色や彩色の工夫」「人物の表情」「構図の工夫」などを通して、文字を引き立たせ、感謝の気持ちや心の豊かさが感じられる、レベルの高い作品が寄せられました。

応募していただきました皆様、ありがとうございました。来年度も是非たくさんの応募をお願いいたします。

校区の活動紹介

屋島西校区



ほたる祭

屋島地区では、各種団体による町づくり運動が積極的に展開され、盆踊り大会・屋島山頂納涼祭・ほたる祭り、子ども会育成会主催の「子どもお楽しみ大会」などを開催しています。「ホタルの飛ぶ町づくり事業推進委員会」主催のほたる祭りは、地区住民の交流や憩いの場として6月上旬に開催され、今年で8回目を迎えました。「子どもお楽しみ大会」は、子どもたちの連携・融和・助け合いの心を育むことを目的に3小学校区それぞれの子ども会育成会主催で、年数回行われています。

屋島地区青少年健全育成連絡協議会は、屋島地区コミュニティ協議会や各種団体と連携を図り、校区内の巡視や各種行事に合わせた見守り活動を行っています。また、各小中学校・PTA および子ども会育成会の協力を得て、潤いのある教育環境や情操教育の振興にも取り組んでいます。今後も巡視中の声かけ活動等を通して子どもたちとコミュニケーションを深め、子どもたちがお互いを支え合える明るい町づくりを目指してまいります。



子ども大会



国分寺南部校区



ふるさとウォーク

国分寺南部地区青少年健全育成連絡協議会は、「地域の安全・安心は地域で守る」「子どもは地域の宝」を合言葉に、絶えずコミュニティ協議会と連携を図り活動しています。

9月28日（土）には、国分寺南部小学校恒例の行事「ふるさとウォーク」が行われました。地域の自然や史跡を巡り、ふるさとをより理解するとともに家族・親子のふれあいを図る行事です。私たちは、コースや目的地までのサポートをはじめ積極的に支援しました。関わっていただいた各種団体の皆様とも交流を図ることが出来ました。また、昨年実施した小学校や幼稚園・保育所・保育園での「餅つき大会」は子どもたちに大変好評でした。今年度も12月の実施に向け準備を進めており、子どもたちも楽しみにしています。

毎月2回の下校時の立哨見守り活動や月1回の登校時の見回り活動をはじめ、挨拶運動や少年育成委員と共同での巡回補導等の活動を積極的に進めることで地域の子どもの健やかな成長を見守ってまいります。



餅つき大会

「ネット依存」あなたは大丈夫ですか？

推計、全国の中高生51万人が「ネット依存」の疑い？

昨年全国の中高生 10 万人近くが回答した、インターネット使用実態に関する厚生労働省研究班の調査では、「病的な使用」と判定され、ネット依存が強く疑われる生徒が 8.1%に上りました。

男女別では、男子 6.4%、女子 9.9%で、女子の割合が高くありました。この割合で全国を推計すると、なんと51万人もの中高生が該当します。

「ネット依存」になると..

- 眠りに就きにくい 23.2%、
- 夜中に目が覚める 15.6%、
- 「午前中は調子が悪い」 24%、
- 気分が落ち込む 67.9% などと体調の不調や、昼夜逆転して生活リズムを乱した人もいました。

では、あなたも答えてみましょう！

(5項目以上に該当する場合は「病的な使用」と判定)

- Q1 あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか？(例えば、前回にネットでしたことを考えたり、次回することを待ち望んでいたり、など)
- Q2 満足を得るために、ネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか？
- Q3 ネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことが度々ありましたか？
- Q4 ネットの使用時間を短くしたり、完全にやめようとしたとき、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じますか？
- Q5 使いはじめに意図したよりも長い時間オンラインの状態ですみますか？
- Q6 ネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活動のことを台無しにしたり、危うくするようなことがありましたか？
- Q7 ネットへの熱中のしすぎを隠すために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがありましたか？
- Q8 問題から逃げるために、または、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといった嫌な気持ちから逃げるために、ネットを使いますか？



「ながら使用」は大変危険！

スマートフォン・携帯電話を使用しながら運転したり、歩くなどの「ながら使用」が県内でも後を絶ちません。昨年1年間で、自転車運転中に警察から警告を受けた人も若者を中心に約660人に上ります。今年に入り、車を運転中の使用で死亡事故も起きており、県警は「会話や小さい画面を見て気を取られると、脇見をしているのと同じで、大変危険だ」として注意を呼びかけています。

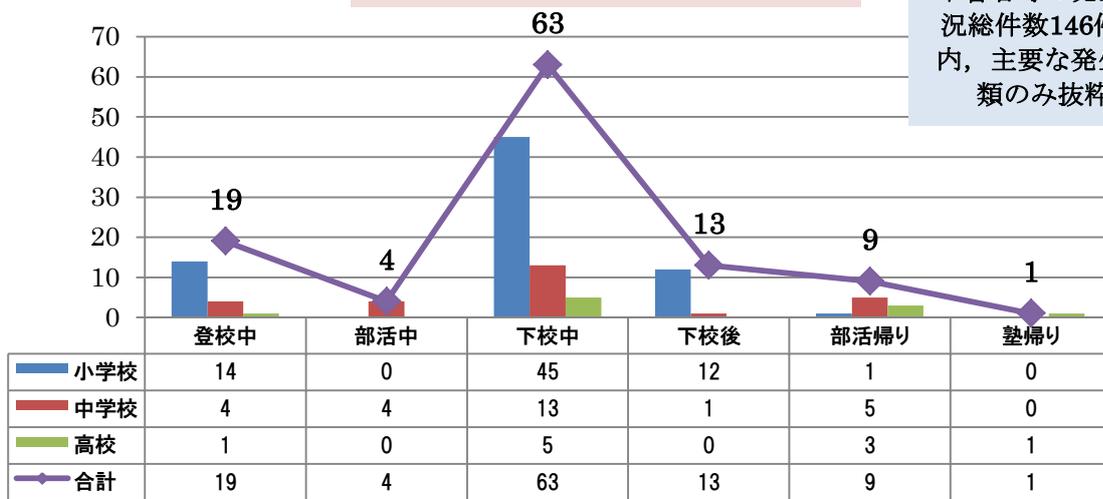
若者の8割が、自転車での「ながら使用」

自転車通学者が多い高松市内公立高等学校の1・2年生約560人に意識調査をした結果、約8割が「スマホ・携帯を使いながらの運転」を挙げ「並列運転」に次いで2番目に多いと答えました。

歩いていても危険な「ながら使用」

同じ意識調査で、歩いてスマホを触っていて、目の前を自転車が横切り、ひゃっとしたことがあるとの回答もありました。また、新聞ではスマホを見ていて、うっかり線路に入り電車にはねられたり、電車のホームから転落したりする事故も報じられています。**歩きながらの使用も大変危険です！**

平成24年度通報に関する集計



不審者等の発生状況総件数146件の内、主要な発生分類のみ抜粋

不審者は、登校中・下校中に多く発生しています。不審者に注意し、自分の身は自分で守れるように、日ごろから不審者への対応を考えておきましょう。

親子でする防犯の基本クイズ

学校からの帰り、あなたなら
どうする？

質問1 帰り道は、どちらを通る

- ア 人通りのない近道
- イ 人通りの多い道
- ウ とくに決めていない



質問2 帰るとき、友だちとどのように帰る

- ア 友だちなどと2人以上で帰る
- イ 1人の方が動きやすいので1人で帰る
- ウ とくに決めていない

質問3 帰り道、行動のおかしい人を見つけたら

- ア 近づいて様子を見る
- イ 声をかけて様子を聞く
- ウ 近づかない

質問4 知らない人から声をかけられたら

- ア 知らない人から逃げる
- イ やさしそうな人にはついていく
- ウ とりあえず返事をする

答えは、このページのしたにあります。

不審者に出会ったら、すぐ家の人か学校の先生に伝えましょう。そして、すぐ110番
しましょう。

クイズの答え 質問1 イ、質問2 ア、質問3 ウ、質問4 ア